

# 神楽坂 青空フェスタで物産店

# 特産品とともに現状発信

多くの人で賑わったふるさとネットの物産店



東京・神楽坂で5月17日に行われた「神楽坂青空フェスタ」に、ふるさとネットが三宅島物産店を出店。タケノコや明日葉、くさやなどを販売するとともに、「三宅島新報」の配布などを通じ、来店した方に島の現状を伝える取り組みを行った。

青空フェスタは、神楽坂商店街を歩行者天国にして12時から始まった。今回の出店では、島の島から直送した新タケノコは、この時期だけのものということもあり、前回と同様早々に完売となる盛況ぶりであった。

店では商品の購入者に、島の噴火災害の記憶を風化させないように、という思いを込めて本紙「三宅島新報」を手渡し、長期災害への認知を

# 三宅島新報

発行所：三宅島ふるさと再生ネットワーク  
〒173-0005  
東京都板橋区仲宿2-1  
Tel. 090-4922-0798  
発行人：会長 佐藤就之

## 事務局便り

○次号発行は10月1日です  
○佐藤会長転居のお知らせ  
(旧) 100-1101  
東京都三宅島三宅村  
神着 320-2

(新) 173-0005  
東京都板橋区仲宿2-1  
※ネット本部・事務局も新住所となります

○ご寄附のお願い  
郵便振替口座番号  
00120-3-545036  
口座名：三宅島ふるさと再生ネットワーク

【三宅島ふるさとネット事務局】  
郵便番号：173-0005  
住所：板橋区仲宿2-1  
携帯：090-4922-0798 (佐藤就之)  
FAX：03-3964-4065

## 観てください MXテレビ

TokyoMX テレビ(9チャンネル)は、東京クラッソ「まるごと三宅島!まなぶ編・ふるさと編」を2回放映する。2回目に「ふるさとネット佐藤会長」もゲスト出演する。

- ・7月4日(土)  
午前11時30分～12時
  - ・7月11日(土)  
午前11時30分～12時
- ※再放送は、翌日の日曜日  
21時30分～22時予定。

呼び掛けた。このほか、島の復興支援や、在京島民の帰島支援のための募金活動なども同時に行われた。

例年この「青空フェスタ」に出店してきたふるさとネットであるが、今年度から体制の見直しにともない、毎年5月と10月の年2回出店していたものを5月のみ年1回に変更した。そのため、次回青空フェスタに出店するのは来年5月を予定している。

**帰島10周年事業 年間を通じ実施**

帰島10周年記念行事は、今年1年間を通じ行うと決めた三宅村。毎月10日は、ふるさとの湯アカコッコ館、資料館などが無料化されている。

また、今年の夏は神着の牛頭天王祭(宵宮7月18日、本宮19日)が、帰郷者と観光客を集め盛大に行われる。

さらに25日、26日には商工会がマリンスコーレ

21フェスタバルの夏祭りを開催。村も補助し芸能人も参加する。

富賀神社大祭は、8月4日から9日まで。噴火災害で破損した神輿もようやく修復され、6日間をかけ全島をまわる。宵宮もあり夏祭りや海遊びが堪能できる。

**坪田「多目的施設」**  
7月25日に落成式

坪田の元公民館で、仮称「多目的施設」建設が、東日本震災の影響で工事遅れが不調となり長らくかかったが、ようやく落成式にこぎつけた。

落成式は7月25日午前11時から午後2時30分まで。帰島10周年記念式典と併せ行うことを予定している。この期に、坪田地区の再興を願う。

# 平成26年度版 管内概要分析②

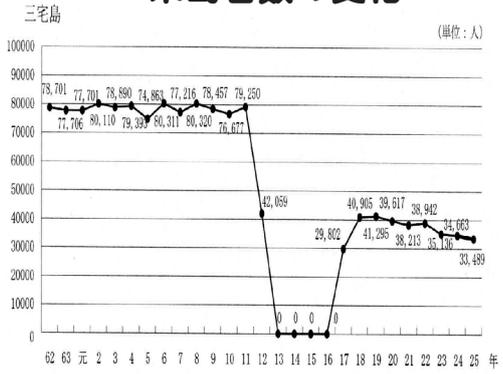
# 観光復興はソフトの充実が鍵

## 御蔵と比べてみると…

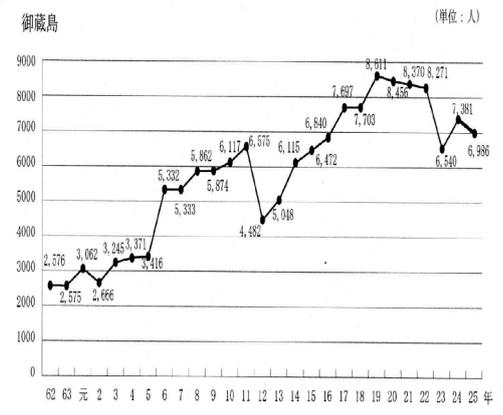
前号に続き「東京都三宅支庁・管内概要」26年度版の「観光」について紹介。皆で考えてみたい。左のデータは、三宅と御蔵のものだ。

平成25年に関して  
は、三宅3万3千489人、御蔵6千986人。三宅の交通機関別来島者1月～12月間で、25

## 来島者数の変化



主)平成12年9月以降平成17年1月末まで、三宅島は全島民島外避難指示により、渡島不可。



(平成25年伊豆諸島・小笠原諸島観光客入込実態調査報告書)

平成26年度版三宅支庁の管内概要に関する分析の続編。観光に関するデータを三宅と御蔵などの島と比べてみると三宅の観光復興が遅れていることがわかる。視察訪問をした小笠原では観光ガイドが充実していることから、三宅でも目玉と位置付けられているジオス・ポット観光などに関するガイド制度の充実などソフト面に関する新たな施策が重要であると思われる。(佐藤)

年は航空機2千360人(5・7%)、船舶3万9千506人(94・3%)計4万千866人である。種別宿泊施設と収容人員(定員)は、25年度(カッコ内は23年度との比較)。旅館・ホテル2軒(マイナス11)、82人(マイナス348)、民宿34軒(プラス6)、687人(プラス63)バングロー1カ所、8人、

キャンプ場1カ所、12人。一方で御蔵は、公営バングロー5カ所、20人、民営も5カ所、20人と若者対策が見て取れる。

## ジオス・ポット柱だが

概要で三宅は「野鳥観察、釣り、ダイビングに続く観光の柱として、火山を位置づけており、三宅島の新たな魅力としてジオス・ポットエリア内の

整備に注力している。これらの整備には三宅島観光資源開発事業が活用されており、ジオス・ポットエリア内のトイレや遊歩道の整備などが進められている」としている。

「東京七島新聞」の(奔流)では、伊豆諸島・小笠原諸島の観光客の低迷をとりあげ奮起を促している。例えば、4月8日号で東海汽船の3月の伊豆諸島航路利用状況を紹介。前年同月比で6万412人、110%増加。各島別は、大島113%、利島111%、新島91%、式根島92%、神津島102%、三宅島82%、御蔵島221%、八丈島122%である。

## 火山観光に3千万円以上

さらに「日本経済新聞」6月13日(プラス1)は、「長旅は承知!それでも訪ねたい離島」を特集。日本の6千800以上の島から50カ所をスペシャリスト12人の選者が10位まで選んだ。1位は、青ヶ島、7位に式根島が海岸

の温泉の写真入りで選ばれた。ポイントは、①文化や自然、景観など見どころがある②着いたときの感動や驚きが大きい③独特の雰囲気や島民との交流が味わえる④島の食べ物や味わえる名産品を味わえるなど。

三宅島では、観光事業補助金を25年度に1611万8千円、都1611万7千円、計3千233万5千円を火山観光整備事業に注ぎ込んでいる。

## 小笠原ではガイドが充実

5月～6月の小笠原親善訪問団に参加させていたのだが、森・山、戦跡、磯ガイドなど充実していた。素晴らしい自然や火山もガイドなしで、単に車中で見ただけでは、本当の感動を与えることができないと痛感した。

帰島10年観光事業もハードからソフト面の重視について本音で、憎まれ口を恐れず語る時期ではなからうか? 皆さんのご意見を「三宅島新報」に寄せてください。

# 佐藤裕美さん訪問記

## 「改めて知った島の魅力」

災害被災地の支援活動を行う「希望の灯り実行委員会」代表の佐藤裕美（さとひろみ）さんが、5月の連休を利用して三宅を訪れた。島内の状況を視察するとともに、ふるさとネットのメンバーなどと交流・情報交換を行った佐藤さんに、訪問記を寄稿していただいた。

### きつかけは集いの参加

5月3日夜、私は三宅島へ向かう大型客船・橘丸の甲板にいた。昨年12月、知人の誘いで「三宅島支援者の集い」に参加させてもらった。記憶に薄れていた



佐藤会長宅での交流風景

### 佐藤さんプロフィール



被災地の「希望の灯り」実行委員会代表。

の代表。

東日本大震災発生後、宮城県、福島県において、被災地支援活動を行うとともに、写真展示や内販、講演活動などにも取り組んできた。

hhks\_hhks@yahoo.co.jp

2000年の三宅島噴火。島民の皆さんのご苦労や関係者の方々の温かい気持ちに胸を打たれた。あれから5ヵ月、「三宅島に行ってみよう」という思いが叶い、連休を利用しての初訪問となった。

午前5時。薄暗がりの中、橘丸は錆が浜港へ着い



佐藤さんをもてなした三宅の料理

### 豊かな自然に感動

三宅島へ着いてまず感じたのは、植物の青く、瑞々しい香り。私の住む

23区内に比較して、ここでは酸素が濃いような気がする。会長宅のお庭にある鳥のエサ台には、国の天然記念物で絶滅危惧種のアカコッコをはじめ、珍しい鳥たちが次々と飛んでくる。さすが「バードアイランド」と呼ばれるだけある。耳を澄ますと、鳥のさえずりが絶え間ない。なんて贅沢な朝だろう。

### 火山島にいることを実感

会長の案内で、島内を観光した。2千500年前の噴火で生じたといわれる大路池。濃厚な緑と青の静かで透明な世界は、アニメのジブリ作品の中にいるようだ。幼少期にこの美しい池で遊んだという会長の話を、童話のように聞く。

1983年の噴火により一夜でできたという新鼻新山は絶景だ。噴火直後、海へ向かって流れ下り、そのまま冷えて固まった溶岩の巨大な断崖が、その瞬間を再現するかのように見える。火山体を圧倒する。

1983年の噴火により溶岩で埋まってしまった阿古小学校の運動場と校舎の全容を見ることができ。島のあちこちで、私は、自分が今まさに火山島に立っているのだというのを強く感じた。

### ネットのメンバー等と交流

夜には佐藤会長のお宅で、ネットワーク副会長の光安千久子さん、村議会議員の浅沼徳廣さんと一緒に過ごしていただいた。あしたばの天ぷらとびゅうのお刺身、採りたての筍、そして三宅島の焼酎・雄山一。喋って、飲んで、最高の一夜を過ごさせていただいた。

短い滞在ではあったが、実に内容の濃い旅だった。佐藤会長、光安さん、浅沼さん、本当にお世話になりました。ありがとうございました。そして、三宅島の復興にご尽力され、昨年末に天国に召された危機管理塾の齋藤實先生に、感謝と共に今回の三宅島訪問をご報告したい。

### 京町さん大舞台に

ふるさとネットの支援者である京町(みやこ)さんが、久々に大舞台に出演する。

舞台「無法松の一生」小林旭、浅丘ルリ子など有名俳優、また豪華歌謡ショーもある。初日は、6/2、6/3北とびあ、から全国公演。中野サンプラザホール7/8夜、7/9昼・夜、太田区区民ホール・アプリコ9/3夜、9/4昼・夜。京町さんから「是非見に来て」(HP参照)との便りが寄せられた。

### ご寄付者名

坂本健様、佐藤宗ノ子様、佐藤就之様、横井和之様、吉田信行様、四谷信子様、菅野善一郎様、遠藤芙美子様、倉持房枝様、(株)キタジマ様、田中良様、高橋栄一様、小曾スミ子様、古舘秀也様、大内一宏様、光安千久子様、竹野内宗崇宏様、吉田雅一様、平松尚志様  
(H 27. 4/17 ~ 6/13 まで)

「終わりは、始め!」  
課題は、尽きない。

「終わりは、始め!」  
課題は、尽きない。

# ガスが止まったら次は…

## 終わらない 島民の噴火への不安

三宅島の噴火警戒レベルが、6月5日にこれまでの「2」から「1」に引き下げられた。マスコミ関係者などからも「よかったですね」という声が届くが、一方でこれまで20年周期で噴火を繰り返してきた三宅島。「ガスが止まったら、次は噴火の警戒」の声もあり、島民の不安は終わりが無い状況だ。

### 噴火警戒レベルは1に

三宅島の噴火警戒レベルは、噴火警戒レベル2から最も低い火山であることに留意のレベル1に引き下げた。

村は、「噴火警戒レベルの引き下げについて」と題して、次の通り発表された。

気象庁の地震火山部は、本日(6月5日)、三宅島の火山ガスが低下して噴火の兆候はみとめられなくなったとして、噴火警戒レベルを2(火山周辺規制)から1(活

火山である事に留意…旧表記「平常」に引き下げました。

但し、主火孔から500m以内に影響する程度の噴火現象は突発的に発生する可能性があり、今後の火山活動の情報に注意してください。

なお、三宅島では、依然として火山ガスの放出が続いていることから「三宅島村火山ガスに対する安全確保に関する条例」により、今まで通り、雄山環状線より内側の区域(図参照略)への立ち入りを規制しております。

### 「終わりは、始め」か?

マスコミ関係者からも「よかったですね」と声

## 帰島10周年事業で小笠原に 肌で感じた世界遺産

### 交流会で村長から激励の言葉

三宅島帰島10周年記念小笠原親善訪問団は、5月31日から6月5日まで、88人が参加した。20時間の長旅を心配したが、幸い行きも帰りもなごでよかった。1日には、歓迎交流会で村長さんが戦後でも帰島できなかった経緯を語り、「三宅島のご苦労はよく理解しています。頑張ってください」と励まされた。さすが世界自然遺産だけあり、集約されている村のお土産店、食品店、街路地など整備されガイドブックも統一感があり感心した。ちょうど中国船の侵入に対する防衛省、海上保安庁などの訓練もあり、夜店で若き



小笠原親善訪問団の記念撮影

海の守り人隊員たちとも交流ができた。三宅島観光協会、小笠原村等の関係者の皆さんに感謝を申し上げます。(光安)

### 編集後記

三宅島では、今年様々な帰島10周年事業が行われています。

来島者が増えているという現状もあるようですが、10周年を期に少しでも三宅島に関心を持つ人が増えてくれることを願うばかりです。

私たちが新報の編集を通じて、島の素晴らしさを発信していきます。

(DTPA一同)